

## 11 健康な地域社会（まち）

実現したい目標	地域での健康づくりの輪をひろげよう
---------	-------------------

生活スタイルの 提案 (市民の取組み)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 地域の中で自分の役割をもとう</li><li>2. 地域活動、サークル活動やボランティア活動などに参加しよう</li><li>3. 地域の中で居場所をもとう</li><li>4. 地域の友だちをつくろう</li><li>5. みんなで新しいことに挑戦しよう</li><li>6. お互いにおしゃれする心もち続けよう</li></ol>
---------------------------	--

健康づくり応援 環境の提案 (行政、健康関連 団体等の取組み)	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 健康づくり推進委員が、地域の健康づくり活動をします</li><li>2. 健康づくりリーダー会、健やかな老年を考える読書会などの地域の健康づくり活動を支援します</li><li>3. 「居場所づくり」の充実をします</li><li>4. 生涯学習の充実をします</li><li>5. ボランティアセンターの充実をします</li><li>6. ボランティアコーディネーターの養成をします</li><li>7. 高齢者の働く場の提供をします</li></ol>
--	---

### 現 状

本市の地域福祉計画策定にあっては、「次世代型」を意識し、小学生以上の市民公募による福祉サービス利用者と社会福祉従事者、ボランティア、町内会などの各種団体・組織及び市職員が参加できる協働の場「168人（ひろば）委員会」で検討を重ねてきました。

委員会では、地域生活を支える仕組みづくりの一つとして、地域生活の3つの場づくりを提言しています。地域での生活をより豊かなものとするためには、いつでも気軽に身の置ける居心地のよい「居場所」、生活を支えるとともに社会参加の基盤となる「働き場」、そして心を豊かにし自己実現を図る「学び・遊びの場」を確保することが必要としています。

- ボランティアセンターに登録しているボランティアはおおよそ1,000人で、人口比率で約2.5%となっています。その活動の一つとして、高齢者の居場所である5か所の「宅老所」は、市民ボランティアが支えています。

宅老所ボランティア 27グループ 448人

- 子育て中の親子の居場所として、平成14年度に「高浜いちごプラザ」が開設しました。また、保健センター事業「あかちゃんプチさろん」に合わせ、健康づくりリーダー会による「ママのゆとりのひととき」の開催など、子育て支援が市民の力により始まっています。一方、母親の自主グループもできています。

児童センター自主グループ 17グループ 226人

高齢者の働き場として「シルバー人材センター」や高齢者の能力・技術を再活用できる場としてのものづくり工房「あかおにどん」などがあり、長年培ってきた能力や技術を活かせる生きがいづくりの「場」にもなっています。

シルバー人材センター登録者数 460人

ものづくり工房 「あかおにどん」 15人

地域の学び・遊び・交流の場として、高齢者対象にパソコンの経験や興味のある人たちがボランティアで行うIT工房「くりっく」、企業のOBや高齢者、地域の職人さんたちのボランティアによるものづくり工房「あかおにどん」、「ふれあいサービス」が行われています。また、地域のお店やさんや生産者を講師に迎え開催する「ふらっとカレッジ」、公民館で行われている各種講座、自主グループ、町内会で開催されている世代間交流推進事業などが行われています。

健康づくり推進委員は、各地域で健康づくり活動をしています。

健康づくり推進委員の地区活動回数 46回

地区活動の参加数 1,347人

健康づくりリーダー会、健やかな老年を考える読書会などが地域で健康づくり活動をしています。

資料：高浜市「生活習慣関連アンケート調査」(平成14年)

## 課題

趣味のない女性が約4割います。

多種多様のボランティア活動を推進するためには「ボランティアセンター」の充実が必要です。

ボランティア活動の多様化に対応していくため、ボランティアコーディネーターの養成が必要です。

核家族化、育児不安、虐待と親子を取り巻く環境のなかで、地域全体で優しい手を差し伸べる必要があります。

居場所となるサークルや講座の充実が必要です。

高齢者の生きがいづくりとなる場の充実が必要です。

地域での健康づくり活動をすすめるため、健康づくり推進委員による活動の充実が必要です。

地域での健康づくり活動をすすめるため、健康づくりリーダー会や健やかな老年を考える読書会などの自主グループへの支援が必要です。

### 健康を語る会の声

いきいきとした人生を送るためには

- ・生活の中で自分の役割が必要である
- ・家族以外の人との交流が必要である
- ・趣味やサークルなどに入る
- ・新しいことに挑戦することが必要である